

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

●-----●
コーディネータコラム

イノベーション創出強化本部 副本部長
URA・社会連携センター コーディネータ
内藤 久俊

●-----●
新技術情報クラブの皆様

コーディネータの内藤久俊です、いつもお世話になっております。
新緑の候、皆様今年のゴールデンウィークはどのようにお過ごしになったでしょうか。
6連休、長い方では10連休を取得した方もいらっしゃるのではないでしょうか。
私は3年ぶりに開催された地域のお祭りに出かけていきました。人出の多さにやや困惑しましたが、3年振りの行動制限なしのゴールデンウィークを、待ちわび、お祭りに出かけたそれぞれの方の喜びに満ちた表情はとても心弾むものでした。しかし当面の間は、基本的なコロナ対策をとる中で、お互いに気を緩めずにウイズコロナを乗り切っていかなければなりません。

さて武田通りの桜並木も新緑に変わり、大学のキャンパスも4月以降、学生が増え、以前の賑わいが戻りつつあります。コロナ禍の中でも、桜並木は今年も見事に開花させ、今は若葉の季節を迎え、やっと世の中動き始めたな、と感ずる今日この頃です。

ところで、皆様は山梨大学が、日本有数の燃料電池の研究拠点であることは既にご存じのことと思います。燃料電池の本格的な普及のために、高性能、高信頼性、低コストを同時に実現可能な燃料電池の基礎的技術の確立を目的として日夜研究に取り組んでいます。
今からなんと44年前の1978年に文科省令にて工学部付属の「燃料電池実験施設」として設置されたのを皮切りに、「クリーンエネルギー研究センター」、「燃料電池ナノ材料研究センター」などが次々に設立されました。その後、2008年度からNEDOの2つのプロジェクトを受託し、燃料電池の高出力化、高耐久化、高効率化に資する触媒や電解質材料、及びそれらの性能を極限まで発揮させる触媒層の研究に取り組み、世界でも注目される多くの成果を挙げています。現在、NEDOからECCEED'30-FCプロジェクトCCEED'40-FCプロジェクトを受託しこれまでの成果を活かしながら新たな発想を取り入れることにより、NEDO技術マップ等で定められるシナリオに基づき、高効率、高耐久、低コストの燃料電池システムを実現するための技術を開発し2030年度以降の実装をめざしています。
このように、世界的にみても最大・最高レベルの燃料電池材料研究拠点でもあり、また県内産業界の社会人技術者を対象にした養成講座（夜間）も山梨県から受託し継続的に展開しています。また客員社会連携コーディネータの皆様及び、企業様宛にも「ナノセンター見学会」も定期的を開催しております。この見学会は本学の燃料電池研究の取組み概要、今後の実装化に向けてのプレゼン及びナノセンターの見学会を実施しております。燃料電池関連事業にご関心のある企業様

は奮ってご参加をお待ちしております。

なお今年度の新技術情報クラブ及びアカデミックサロンの取り組みに関しましては、コロナ禍を勘案する中、リアル開催、WEB 開催、ハイブリット開催等を検討中です。

皆様のご意見等頂く中、決定していく方針です。

それでは皆様、よろしくお願い致します。

インフォメーション 目次

- 01： トピックス (1 件)
- 02： 助成事業および公募情報 (2 件)
- 03： 特許出願情報 (1 件)
- 04： 事務局からのお知らせ

■

- 01 トピックス (1 件)
-

◆ウクライナからの避難者支援を開始

本学と認定 NPO 法人フードバンク山梨は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、山梨県へ身を寄せた避難者 2 人への生活支援や学修支援を開始しました。

2 人は兄弟で、4 月上旬に県内の親戚を頼りに避難してきており、親族から相談を受けたフードバンク山梨の相談員を通じて本学に支援の依頼があったことを受け、修学面や住環境の支援を開始しました。

現在、ポゴモレツ国立医科大学医学部 6 年生の弟、クレショヴ ジュリアンさんの「眼科医を目指し勉強を続けたい」という本人の希望を叶えるため、外国人短期研修生として医学部で受入れ、学業に専念できる環境と住居施設（大学宿舎）を提供しました。

本学は、ウクライナのハルキウに所在する国立航空宇宙大学からの要請を受け、ロシア軍の侵攻により講義が受けられない大学院生に対して、遠隔授業を提供するプロジェクトを進めており、現在までに述べ 500 名が登録し、一部の学生が受講を開始しています。

ウクライナ国民が一刻も早く平穏な日常を取り戻されることを心から願うとともに、本学では、引き続き、ウクライナの人々を全力で支援してまいります。

■

- 02 助成事業および公募情報 (2 件)
-

◆【経済産業省】「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」の公募

地域の単独もしくは複数の中小企業等が、地域内外の関係主体と連携しつつ、複数の地域に共通する地域・社会課題について、技術やビジネスの視点を取り入れながら、複数地域で一体的に解決しようとする事業（実証プロジェクト）について、その経費の一部を補助する事業を行うことにより、中小企業者等の地域・社会課題解決と収益性との両立を目指す取組である「地域と企業の持続的共生」を促進し、地域経済の活性化を実現するため、令和 4 年度当初予算「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」に係る間接補助事業者を公募します。

本事業では、補助事業期間における実証地域数に応じて 3 つの事業類型を設けています。

事業類型により、要件、補助率、補助上限額が異なります。

公募期間：令和 4 年 4 月 18 日(月)～5 月 17 日(火) 17 時まで

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://chiiki-ks.jp/>

【山梨県】やまなしイノベーション創出事業費補助金(研究開発)

本県産業の活性化に向け、経営革新や業種転換を進める県内中小企業の新技術や新製品の研究開発を支援することにより、今後成長が期待される産業分野への進出を促進し、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図ることを目的としています。

募集期間：令和4年4月15日(金)～5月31日(火)

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/seichosangyo/innovation_hojo/innovation_hojyokin.html

□ ■

■03 特許出願情報 (1件)

～山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します～

特許情報については、クラブ会員様のみのご提供となっております。
本掲載では未公開とさせていただきます。

□ ■

■04 事務局からお知らせ

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員会社様の持っておられる技術課題を伺います。
ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

■ □ ■